

ルスツまであと4ヶ月

SEA がやってきた 2008 年 10 月初旬 東京 北海道

木村佳司



スキーオリエンテーリング世界選手権 2009 の詳細な計画を打ち合わせるメンバー

(左) ヴェリマルコ・コルテニエミ (シニアイベントアドバイザー)

(左から 2 人目) 高島和宏 (コースプランナー)

(左から 3 人目) 清水由布子 (海外窓口担当)

(右) 木村佳司 (ナショナルイベントアドバイザー)

撮影：村越 東京都内にて

日本で開催される世界選手権まであと4ヶ月。
国際連盟からアドバイザーが日本にやってきた。

イベントアドバイザー来日

「KEISHI！」

私の名を呼ぶ声に立ち止まった。コーヒーショップから出てきたのは大柄な外国人、コルテニエミ氏だ。地下鉄の階段を登ってくる人をガラスの向こう側から観察していたらしい。

私もコーヒーを一杯注文し、東京・日本橋のハリコミに加わった。ほどなく村越氏が御用となり、ミーティングの場所へと向かった。

2009 年 3 月に開催が予定されている、スキーオリエンテーリング世界選手権の準備のため、SEA (シニア・イベント・アドバイザー) が来日した。

SEA は国際オリエンテーリング連盟 (IOF) から派遣されるもので、フィンランドのヴェリマルコ・コルテニエミ氏が今回の SEA を務めている。

今回の来日期間は 2008 年 10 月 3 日から 12 日。この間、本州に居る運営者と東京で 2 回ミーティングを行い、さらに大会予定地である北海道のルスツリゾートで打ち合わせを行った。

日本ではスキーオリエンテーリング愛好家の数は決して多くない。しかも皆本業を持っているだけに、実行委員を確保するのも難しい。準備作業もなかなか思うように進んでいないのが実情だ。

スキー0 先進国のフィンランドから来た SEA からみれば、実にまどろっこしい状況だったに違いない。しかしコルテニエミ氏は決して諦めない。あらゆる可能性を考え提案してくる。こうした所は見習いたい。

2009 年	3 月 4 日 (水)	スプリント
	3 月 5 日 (木)	ロング
	3 月 6 日 (金)	(一般レース)
	3 月 7 日 (土)	ミドル
	3 月 8 日 (日)	リレー

海外からの問い合わせ

北ヨーロッパではフット0のシーズンが終わり、スキー0のシーズンがやってきた。窓口にも世界選手権ルスツ大会に対する問い合わせがいくつか舞い込んでいる。

Orienteering World 誌からも取材が行われた。そのやりとりをここに紹介する。

Orienteering World 誌：

この大会に期待することは何ですか？

実行委員会：

スキーオリエンテーリング世界選手権がアジアで開催された実績を作ることです。この実績はスキーオリエンテーリングの国際的広がりを示すことになります。この実績が今後のオリエンテーリング活動すべてにより影響を与えたいと思っています。

この大会を機会に東アジアにおいてもスキーオリエンテーリングへの関心が高まることを期待しています。

Orienteering World 誌：

この大会が日本のスキーオリエンテーリング界に与える影響について

実行委員会：

今までスキーオリエンテーリング世界選手権は遠くの国で行われる行事でした。それが身近な日本国内で行われることで、多くの方にスキーオリエンテーリングの面白さ、すごさを知っていただく機会が増えると思います。



ルスツリゾート。世界選手権の会場予定地。写真は過去のローカススキー0大会のもの。ホテルのすぐ横にフィニッシュを設置した。

加えて Orienteering World 誌は日本のスキー0男子選手の第一人者・堀江にも取材を行ったようである。

2 年前の世界選手権モスクワ大会の時私は堀江の話了他国のメンバーから聞かれた。日本の堀江・酒井の両選手は海外でも有名になっている。

両選手に限らず、日本選手にはぜひとも今度の世界選手権でひと暴れして欲しい。

(木村佳司)